

(イ)職位別の状況

表2は、デジタル化の状況についての結果を職位別に示したものである。特徴的な点に絞って指摘していく。

まず、仕事に必要な文書がデジタル化されているかという点についてである。一般職は2.89、主任・係長級は3.05と両者の差は0.16だった。当てはまらないとする割合でみると、一般職25.8%、主任・係長級16.5%になっている。一般職が主任・係長級や課長級以上に比べて高いのは、自らが担当する業務において文書のデジタル化が進んでいないことを直接経験する立場にあるためだと考えられる。文書のデジタル化は、現場に近いところに行けば行くほど遅れている部分があると考えられる。

次に、他部署とのデータのやり取りについてである。主任・係長級は他の職位に比べて紙が使われることは少ない(2.46)としているが、一般職は2.64と半数を超えている。パーセンテージでみても58.1%である。必要な文書のデジタル化と同じように、現場第一線では他部署とのやり取りが紙で行われることがまだまだ残っているようである。

第3に、取引先の事情に合わせて複数のソフトウェアを使い分ける必要があるかという点についてである。主任・係長級は2.40であるのに対して、一般職は2.15になっている。パーセンテージでみると、主任・係長級43.8%、一般職35.4%である。主任・係長級になると、取引先との連絡が多くなり、相手先に合わせてソフトウェアを使い分ける手間を感じているようである。

第4の視点は、デジタル機器を使って仕事することに対応できない人がいることである。課長級以上は2.41であるのに対して、一般職は2.64である。パーセンテージでみると、課長級以上の43.3%、一般職の54.2%が当てはまると回答した。どの年代のどのような仕事をしている人かという点はたずねていないが、現場第一線には対応できない人たちが一定数存在することを示している。

第5点は、十分な議論がされずにデジタル化が進んできていることについての認識である。主任・係長級は2.61であるのに対して、課長級以上は2.38である。パーセンテージでみると、55.0%と45.1%である。課長級以上は、デジタル化の全体像についての情報を得られる立場にあるのに対して、主任・係長級は必ずしも全体像を知らされていない可能性がある。両者の違いは、受け取る情報の差によるものだと考えられる。

6番目の点は、デジタル化と雇用減少についての見方である。全体的に否定的ではあるが、一般職と課長級以上の間に若干の差が認められる。一般職は22.1%が当てはまるとしているのに対して、課長級以上で当てはまると回答したのは16.4%であった。課長級以上の人たちは、現場にコンピュータが導入されること(IT化)を経験してきており、IT化が進んでも直ちに雇用削減につながらなかったことから、楽観的に考える人が多いのではないかと推察される。

最後に、会社内のデジタル化についての認識である。十分に進んでいるか否かについて、主任・係長級の2.47に対して、一般職は2.28だった。平均値が2.37なので十分に進んでいないという意見が優勢であるが、特に一般職においてその傾向が強い。現場第一線で働いていると、「デジタル化はまだまだだな」と感じる従業員が多いようである。

表2 職場のデジタル化の現状（職位別）

		平均値	一般職	主任・ 係長級	課長級 以上
a	パソコンなどデジタル機器は仕事に必要なものが備えられている	3.40	3.30	3.47	3.46
b	パソコンなどデジタル機器は新旧が混在しており、仕事に支障をきたすことがある	2.35	2.38	2.40	2.15
c	仕事に必要な文書類はデジタル化されている	2.96	2.89	3.05	2.96
d	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)が仕事の効率化に役立っている	2.14	2.08	2.20	2.16
e	AI(人工知能)が仕事の効率化に役立っている	1.70	1.68	1.73	1.68
f	自分はデジタル機器を使いこなしている	2.56	2.51	2.61	2.54
g	上司はデジタル機器を使いこなしている	2.63	2.62	2.65	2.63
h	他部署とのデータのやりとりはオンラインが基本だが、紙が使われることもある	2.55	2.64	2.46	2.55
i	デジタル機器を使うことで仕事の効率化が進んでいる	3.19	3.15	3.21	3.26
j	デジタル機器を使うことで労働時間が長くなる場合がある	2.26	2.23	2.30	2.23
k	取引先の事情に合わせて複数のソフトウェアを使い分ける必要がある	2.27	2.15	2.40	2.25
l	デジタル機器を使って仕事をすることに対応できない人がいる	2.58	2.64	2.59	2.41
m	十分な議論がされずにデジタル化が進んできている	2.55	2.56	2.61	2.38
n	デジタル化によって職場メンバー間の情報共有が進んできている	2.99	2.93	3.01	3.09
o	みんなでデジタル化を推進しようという職場風土がある	3.06	3.01	3.07	3.15
p	デジタル化が進むと、雇用が減少する不安がある	1.90	1.95	1.91	1.76
q	職場のデジタル化は、十分に進んでいる	2.44	2.44	2.50	2.35
r	会社内のデジタル化は、十分に進んでいる	2.37	2.28	2.47	2.35